ボーリング柱状図

調　査　名　平成26年度防災・安全交付金（河川）広域河川改修工事

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	23+12 L	調査位置	（一）承知川　諏訪郡下諏訪町　富部地内			北緯	36° 4’ 10.6”
発注機関	長野県　諏訪建設事務所　整備課　整備第一係			調査期間	平成 27年 1月 14日 ～ 27年 1月 21日	東経	138° 5’ 30.1”
調査業者名	株式会社　エオネックス 電話（076-238-1181）	主任技師	坂田　信和	現場代理人	天満　稔	コア鑑定者	天満　稔	ボーリング責任者	大野田　善一
孔口標高	764.731m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	試錐機	EP-26	ハンマー落下用具	半自動落下
総掘進長	13.45m								エンジン		ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
1	763.23	1.50	1.50		埋土	暗褐～黒			深度0.00～0.60mは礫φ5～20mm程度の粘土混り砂礫。 深度0.60m以深は黒色のシルト混り砂主体。	
2	762.13	1.10	2.60		礫混り砂	暗褐			細礫混り中砂～粗砂。 含水非常に多い。	1/21 1.90
3	760.73	1.40	4.00		玉石混り砂礫	灰褐～赤褐			礫はφ5～20mm主体、最大φ60mm程度。マトリックスは粗砂主体。 含水多い。	1/20 3.05
4	760.23	0.50	4.50		礫混り砂	灰褐			細礫混り粗砂主体。	
5										
6					玉石混り砂礫	赤褐			礫はφ20～60mm程度の亜円礫主体。 マトリックスは粗砂。 含水多い。 深度6.00m以深は不規則に粘土分が混る。	
7										
8										
9	755.73	4.50	9.00							
	755.03	0.70	9.70		礫混りシルト質砂	青灰			細礫混りシルト質中砂。	
10					玉石混り砂礫	青灰			礫はφ5～10mm主体、最大φ60mm程度。マトリックスは粗砂主体。 含水中位。 深度11.15～11.45m付近は部分的に礫分が少ない。	
11										
12	752.73	2.30	12.00							
13	751.28	1.45	13.45		シルト混り砂礫	暗灰～赤褐			礫は細礫主体。 マトリックスはシルト混り砂主体。 深度12.3m付近にシルトを挟む。	

標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	2／15	1／15		3／30	3
1.45～2.15	4	3／15	1／20	8／45	5
2.60～3.15	7	11	10	28／30	28
3.45～4.15	2	2	2	6／30	6
4.45～5.15	33	14	3／4	50／24	63
5.39～6.15	10	8	14	32／30	32
6.45～7.15	17	23	10／3	50／23	65
7.38～8.15	13	12	13	38／30	38
8.45～9.15	7	5	5	17／30	17
9.45～10.15	7	33	10／8	50／28	54
10.43～11.15	9	5	6	20／30	20
11.45～12.15	1	3	4	8／30	8
12.45～13.15	3	5	8	16／30	16
13.45					

原位置試験 深度 (m)	試験名および結果

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（）	掘進月日
				1/20
				1/21

ボーリング柱状図

調　査　名　平成26年度防災・安全交付金（河川）広域河川改修工事

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	24+18 L	調査位置	（一）承知川　諏訪郡下諏訪町　富部地内			北緯	36° 4’ 10.9”
発注機関	長野県　諏訪建設事務所　整備課　整備第一係			調査期間	平成 27年 1月 14日 ～ 27年 1月 21日	東経	138° 5’ 29.4”
調査業者名	株式会社　エオネックス 電話（076-238-1181）	主任技師	坂田　信和	現場代理人	天満　稔	コア鑑定者	天満　稔	ボーリング責任者	大野田　善一
孔口標高	764.959m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機	EP-26	ハンマー落下用具	半自動落下
総掘進長	11.00m								エンジン		ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
1	763.96	1.00	1.00		埋土	暗褐			深度0.00～0.05mはアスファルト。 深度0.05m以深はコンクリート片が混る玉石混り砂礫。	
	762.96	1.00	2.00		砂混り礫	黒			粗砂が混るφ2～30mm程度の亜円礫。	
2	762.36	0.60	2.60		シルト質砂	暗褐			シルト質細砂～中砂主体。 含水やや多い。	
3	761.51	0.85	3.45		砂礫	暗褐			礫はφ2～30mm程度の亜円礫。 マトリックスは中砂主体。 含水非常に多い。	1/19 3.12
4	760.61	0.90	4.35		砂混り有機質シルト	灰褐			繊維状の有機物が混る。 含水中位。	
5	759.46	1.15	5.50		砂礫	暗褐			礫はφ20～60mm程度の亜円礫。 マトリックスは細砂～中砂。 不均一に細粒分が混る。 含水多い。	
6					砂混り有機質シルト	黒褐			層厚5cm程度の細礫混り砂層を不規則に挟む。 繊維状の有機物を少量混入する。 含水中位。	
7	757.16	2.30	7.80							
8					玉石混り砂礫	赤褐			礫はφ5～20mm主体、最大φ60mm程度の亜円礫。 マトリックスは粗砂主体。 全体的に不均一質で含水多い。 深度9.15～9.45mは礫分が少ない。	
9										
10	753.96	3.20	11.00							

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)
1.15	3	3	3	9／30
1.45				
2.15	1／45			1／45
2.60				
3.15	7	7	6	20／30
3.45				
4.15	2	3	9	14／30
4.45				
5.15	9	7	6	22／30
5.45				
6.15	2	2	6	10／30
6.45				
7.15	4	4	2	10／30
7.45				
8.15	40	10／2		50／12
8.27				
9.15	4	4	7	15／30
9.45	50／5			50／5
10.15				
10.20				

N 値

0	10	20	30	40	50	60
9	1	20	14	22	10	10
125	15	300				

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法

室内試験（ ）	掘進月日
	1／19

ボーリング柱状図

調　査　名　平成26年度防災・安全交付金（河川）広域河川改修工事

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	25+10 L	調査位置	（一）承知川 諏訪郡下諏訪町 富部地内			北緯	36° 4’ 10.9”
発注機関	長野県 諏訪建設事務所 整備課 整備第一係			調査期間	平成 27年 1月 14日 ～ 27年 1月 21日	東経	138° 5’ 29.1”
調査業者名	株式会社 エオネックス 電話（076-238-1181）	主任技師	坂田 信和	現場代理人	天満 稔	コア鑑定者	天満 稔	ボーリング責任者	大野田 善一
孔口標高	765.074m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機	EP-26	ハンマー落下用具	半自動落下
総掘進長	13.00m								エンジン		ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
1	763.37	1.70	1.70		埋土	暗褐			粘土混り砂礫。礫はφ20～60mmの亜角礫主体。地表面にはφ200mm程度の玉石が点在する。含水中位。		1.15	2	2	3	7/30								
2	762.47	0.90	2.60		玉石混り砂礫	暗褐			礫はφ20～60mm主体。マトリックスは粗砂主体。細粒分が少量混じる。含水やや多い。	1/14 2.00	1.45 2.15	4	4	5	13/30								
3											2.45 3.15	ハンマー自沈			0/35								
4	760.47	2.00	4.60		砂混り有機質シルト	灰褐			繊維状の有機物が混入する。含水中位。		3.50 4.15	0/25	1/20		1/45								
5	759.92	0.55	5.15		砂混り礫	灰褐			礫φ5～10mm程度の砂混り礫。	1/15 4.53	4.60 5.15	2/20	6		8/30								
	759.72	0.20	5.35		砂	灰褐			中砂～粗砂。		5.45 6.15	15	11	17	43/30								
6					玉石混り砂礫	暗褐			礫はφ5～10mm主体、最大φ60mm程度。マトリックスは粗砂。		6.45 7.15	15	11	4	30/30								
7	757.72	2.00	7.35								7.45 8.15	1	2/15	1/5	4/30								1/14
8	756.47	1.25	8.60		砂混りシルト	暗灰			薄層状に砂層を挟む。繊維状の有機物を少量混入する。含水中位。		8.45 9.15	5	3	2	10/30								
9	755.37	1.10	9.70		礫混り砂	灰褐			φ5～20mm程度の亜円礫が混る。細粒分が不均一に混る。深度8.80～9.00m付近は含水が多い。		9.45 10.15	4	2	2	8/30								
10	754.47	0.90	10.60		シルト混り砂礫	灰褐～赤褐			礫はφ10～20mm主体。マトリックスはシルト混り砂。深度10.3m付近は細粒分が多い。		10.45 11.15	14	14	15	43/30								
11											11.45 12.15	40	10/2		50/12								
12	752.07	2.40	13.00		玉石混り砂礫	赤褐			礫はφ5～20mm主体、最大φ60mm程度の亜円礫主体。マトリックスは粗砂主体。		12.27												1/15

ボーリング柱状図

調　査　名　平成26年度防災・安全交付金（河川）広域河川改修工事

ボーリングNo

事業・工事名

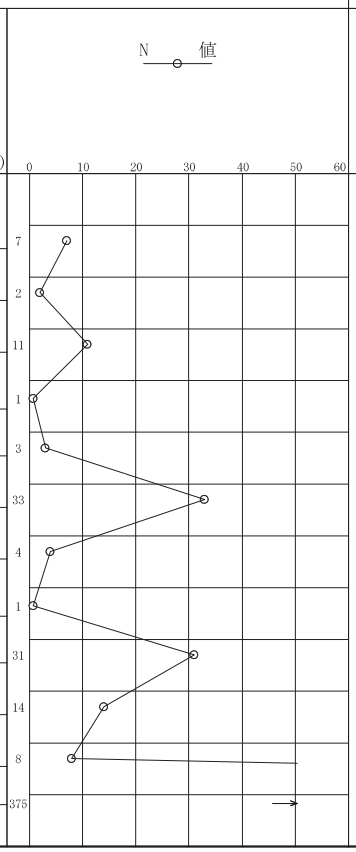
シートNo

ボーリング名	25+7.88 R	調査位置	（一）承知川　諏訪郡下諏訪町　富部地内			北緯	36° 4’ 10.8”
発注機関	長野県　諏訪建設事務所　整備課　整備第一係			調査期間	平成 27年 1月 14日 ～ 27年 1月 21日	東経	138° 5’ 29.1”
調査業者名	株式会社　エオネックス 電話（076-238-1181）	主任技師	坂田　信和	現場代理人	天満　稔	コア鑑定者	天満　稔	ボーリング責任者	大野田　善一
孔口標高	764.905m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	試錐機 EP-26	ハンマー落下用具	半自動落下
総掘進長	13.00m								エンジン		ポンプ

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
1	762.91	2.00	2.00		埋土	暗褐			礫φ20～60mm程度の粘土混り砂礫。地表面にはφ200mm程度の玉石が点在する。含水中位。	
2	761.46	1.45	3.45		玉石混り砂礫	暗褐			礫はφ20～40mm程度主体で、亜角礫が混る。マトリックスは粗砂主体。含水多い。	1/17 9:00 3:50
4	759.46	2.00	5.45		砂混り有機質シルト	黒～暗灰			繊維状の有機物を混入する。含水中位。	
6	757.91	1.55	7.00		玉石混り砂礫	黒			礫は5～10mm主体、最大φ60mm程度。マトリックスは粗砂主体。含水多い。	
7	757.31	0.60	7.60		砂混りシルト	暗灰			繊維状の有機物が少量混入する。含水中位。	
8	756.91	0.40	8.00		砂礫	黒			礫は5～10mm主体、最大φ60mm程度。マトリックスは粗砂主体。	
9	755.66	1.25	9.25		砂混りシルト	暗灰			繊維状の有機物が少量混入する。含水中位。	
10	753.46	2.20	11.45		シルト混り砂礫	灰褐			礫はφ5～20mm主体、最大φ40mm程度。マトリックスはシルト混り砂。全体的に不均一質。	
12	751.91	1.55	13.00		玉石混り砂礫	赤褐			礫はφ5～30mm主体、最大φ60mm程度。マトリックスは粗砂主体。	

標準貫入試験

深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	2	2	3	7/30	7
1.45 2.15	1/18	1/12		2/30	2
2.45 3.15	4	5	2	11/30	11
3.45 4.15	0	1/30		1/40	1
4.55 5.15	0	2	1	3/30	3
5.45 6.15	8	11	14	33/30	33
6.45 7.15	2	1/8	1/12	4/30	4
7.45 8.15	0/22	1/18		1/40	1
8.55 9.15	2	21	8	31/30	31
9.45 10.15	8	3	3	14/30	14
10.45 11.15	1	3	4	8/30	8
11.45 12.15	50/4			50/4	375
12.19					



原位置試験 深度(m)	試験名および結果	試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
						1/16
						1/17